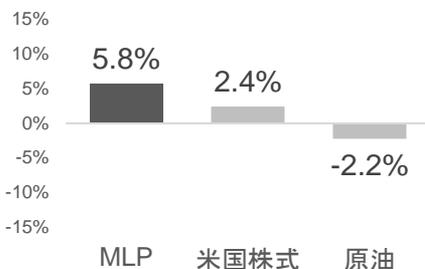


■ 当月のS&P MLP 指数の動き

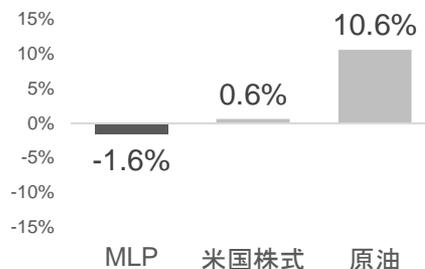
7月のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前月末比+6.1%と上昇しました。7月初旬から始まった4-6月期の決算における分配金の発表において、前期比増配を発表するMLPが多くみられたこと、米国株式市場も上昇基調となったことなどが背景となり、MLPは上昇基調となりました。また、監督当局であるFERC(米連邦エネルギー規制委員会)が、7月中旬に発表した規則変更に関する最終決定が、一定の条件下でMLPが税額控除を維持できる内容だったことを受け、投資家心理が改善したことも、MLP市場の押し上げ要因となりました。

■ 過去3カ月の主要指標の月次騰落率(米ドルベース、トータルリターン)

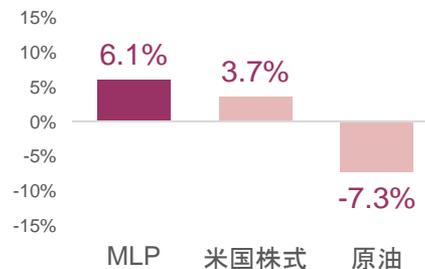
2018年5月



2018年6月



2018年7月



■ 主要指標の動き

MLP: S&P MLP 指数、米国株式: S&P 500 種指数、原油: WTI

休場の場合は、直前の営業日のデータを使用	指数値	指数値	指数値	指数値	騰落率		
	2018/7/31	2018/6/30	2018/4/30	2017/12/31	前月末比	3ヵ月前月末比	前年末比
S&P MLP 指数 (米ドルベース)							
トータルリターン	4,912.03	4,628.46	4,447.22	4,582.12	6.1%	10.5%	7.2%
プライスリターン	1,590.45	1,506.65	1,468.39	1,550.13	5.6%	8.3%	2.6%
S&P 500種 指数 (米ドルベース)							
トータルリターン	5,549.96	5,350.83	5,193.04	5,212.76	3.7%	6.9%	6.5%
プライスリターン	2,816.29	2,718.37	2,648.05	2,673.61	3.6%	6.4%	5.3%
S&P 500種 エネルギー株指数 (米ドルベース)							
トータルリターン	1,001.37	987.34	951.46	924.42	1.4%	5.2%	8.3%
プライスリターン	569.16	561.54	544.56	533.41	1.4%	4.5%	6.7%
S&P 米国 REIT 指数 (米ドルベース)							
トータルリターン	1,262.64	1,254.20	1,153.29	1,237.27	0.7%	9.5%	2.1%
プライスリターン	312.50	310.99	288.53	313.62	0.5%	8.3%	-0.4%
米国ハイイールド債 (ICE BofA Merrill Lynch・米国ハイイールド・インデックス (米ドルベース))							
トータルリターン	1,277.27	1,263.15	1,259.00	1,262.20	1.1%	1.5%	1.2%
プライスリターン	76.32	75.87	76.43	78.21	0.6%	-0.1%	-2.4%
米国10年国債利回り							
	2.96%	2.86%	2.95%	2.40%	0.10	0.01	0.56
原油 (WTI) 米ドル/1バレル当たり							
	68.76	74.15	68.57	60.42	-7.3%	0.3%	13.8%
天然ガス先物 米ドル/百万btu当たり							
	2.78	2.92	2.76	2.95	-4.9%	0.7%	-5.8%
米ドル (対円)							
	111.86	110.76	109.34	112.69	1.0%	2.3%	-0.7%

※ 「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。

※ 各指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

日興アセットマネジメント

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

■当月の出来事いろいろ

- WTI原油先物価格は、6月29日に1バレル＝74.15米ドルで2014年11月以来の高値を付けていたものの、7月は下落基調となり、7月23日には67.89米ドルと安値を付けました。
- 7月初、サウジアラビア国王が増産要請に合意したと、トランプ米大統領が明らかにしたことを受け、原油の増産観測が広がった。
- 7月11日、リビアで封鎖されていた原油の積み増し再開が伝わったことに加え、通商摩擦の激化が世界経済の成長率を押し下げることへの警戒感が強まり、WTI原油先物価格は前日比▲5.0%、16日は、ロシアによる原油増産の思惑や、米国が原油の戦略備蓄の放出を検討しているとの報道、さらには中国の2018年4-6月期GDP成長率の鈍化などが嫌気され▲4.2%と、1日の下落率が特に大きくなった。
- 7月19日、S&P MLP 指数(米ドルベース、トータルリターン)は、前日比+2.4%と大きく上昇した。監督当局であるFERC(米連邦エネルギー規制委員会)が、18日遅くに発表した規則変更に関する最終決定が、一定条件の下でMLPが税額控除を維持できる内容だったことが背景となった。今年3月、FERCは、MLPに対する税額控除制度の一部撤廃について発表していた。

■今後の注目点

- 8月13日、OPEC(石油輸出国機構)の月報が公表される。6月22日のOPEC総会および翌23日のOPEC加盟国・非加盟国の会合において、7月以降、原油減産の順守率を150%から100%に戻すことで合意されており、協調減産緩和決定後の原油の生産動向に注目が集まる。

■MLPの分配金動向

決算シーズンの際、MLP各社は、決算発表に先立ち、その期の分配金を発表するのが一般的です。2018年4-6月期は、7月9日の「プレーンズ・オール・アメリカン・パイプライン」を皮切りに配当公表が始まりました。7月31日現在で、指数構成銘柄(61銘柄、2018年6月末時点)のうち、**48社の発表が終了しており、前期比での増配は25社、横ばいが22社、減配が1社**でした。

<S&P MLP 指数の上位構成銘柄*と株価の月次騰落率>

2018年7月末現在

*上位構成銘柄は、2018年6月末時点

銘柄名	業種 (事業分類)	2018年1-3月期		2018年4-6月期		株価の月次騰落率	
		分配伸び率 (前期比)	分配伸び率 (前年比)	分配伸び率 (前期比)	分配伸び率 (前年比)	2018年 6月	2018年 7月
1 エンタープライズ・プロダクツ・パートナーズ	石油・ガス 貯蔵・輸送 (川中)	0.6%	3.0%	0.6%	2.4%	-4.3%	4.8%
2 エナジー・トランスファー・パートナーズ		0.0%	5.6%	0.0%	2.7%	0.3%	10.1%
3 マゼラン・ミッドストリーム・パートナーズ		1.9%	7.4%	2.1%	7.6%	-1.2%	3.9%
4 エナジー・トランスファー・エクイティ		0.0%	7.0%	0.0%	7.0%	-0.2%	5.6%
5 プレーンズ・オール・アメリカン・パイプライン		0.0%	-45.5%	0.0%	-45.5%	0.6%	4.8%
6 MPLX		1.6%	14.4%	1.6%	11.6%	-4.9%	6.7%
7 ウィリアムズ・パートナーズ		2.3%	2.3%	2.4%	4.8%	2.0%	10.9%
8 バックアイ・パートナーズ		0.0%	1.0%	未発表	未発表	-2.5%	-1.3%
9 ウェスタン・ガス・パートナーズ		1.6%	6.9%	1.6%	6.7%	-6.3%	5.7%
10 プレーンズGPホールディングス		0.0%	-45.5%	0.0%	-45.5%	-2.7%	2.9%

※業種は、GICS(世界産業分類基準)に基づく、事業分類は、日興アセットマネジメントによるもの

※2018年4-6月期の分配伸び率は、2018年7月31日時点で確認できたもの (信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

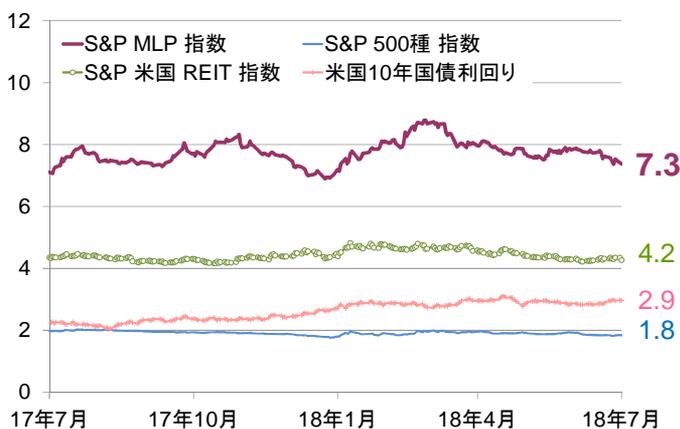
■過去1年の指数の推移 (米ドルベース/トータルリターン)

(2017年7月末～2018年7月末)



■各資産の利回り

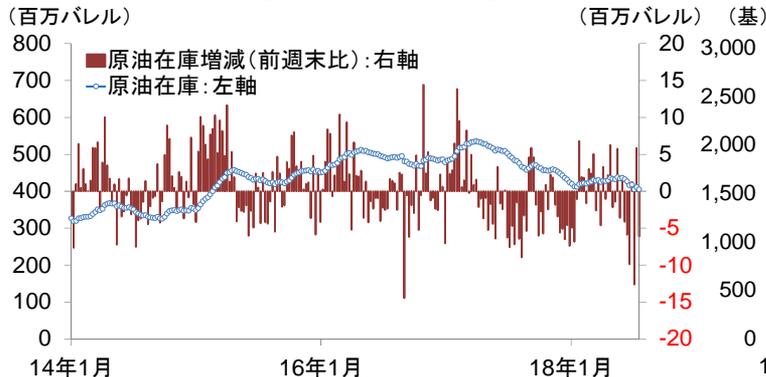
(%) (2017年7月末～2018年7月末)



※ 各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。
 ※ 各指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

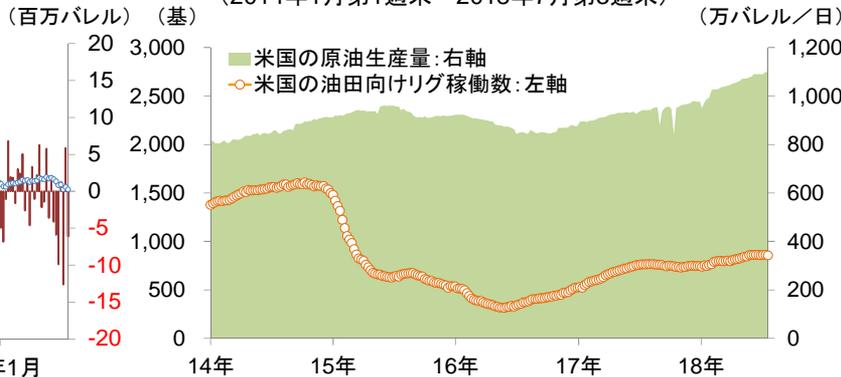
■米国の原油在庫

(2014年1月第1週末～2018年7月第3週末)



■米国の原油生産量と油田向けリグ稼働数

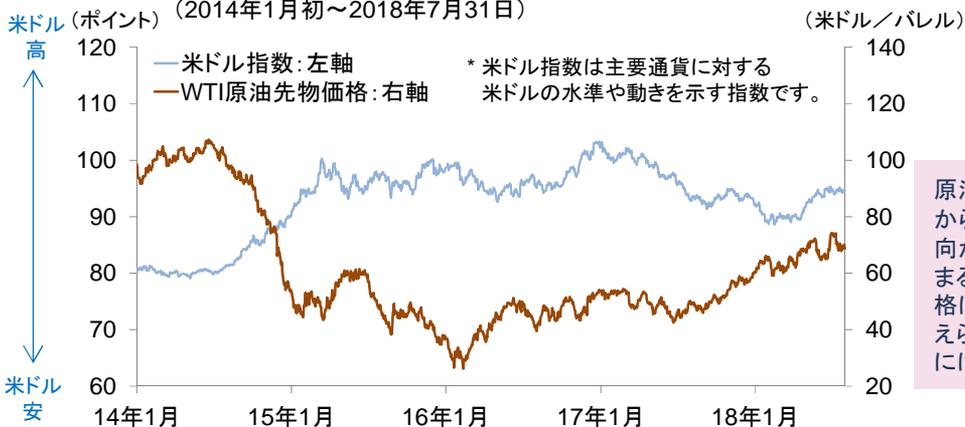
(2014年1月第1週末～2018年7月第3週末)



原油価格は、原油需給の影響を大きく受けます。一般的に、原油在庫が増えれば(減れば)、需給悪化懸念(改善期待)から、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。また、油田向けのリグ稼働数が増え(減り)、原油生産量が増える(減る)と、需給悪化懸念(改善期待)などから、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。

■原油価格と米ドル指数*

(2014年1月初～2018年7月31日)



原油は、米ドル建てで取引されることから、米ドル相場の影響を受ける傾向がみられます。米ドル高基調が強まる場合、割高感などにより、原油価格に押し下げ圧力が働く可能性が考えられることから、米ドル相場の動向には注視が必要です。

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。